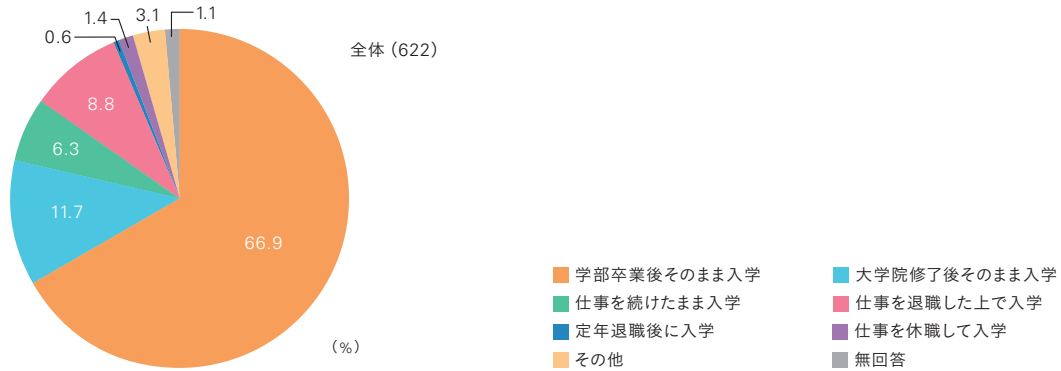


第6章 大学院学生について

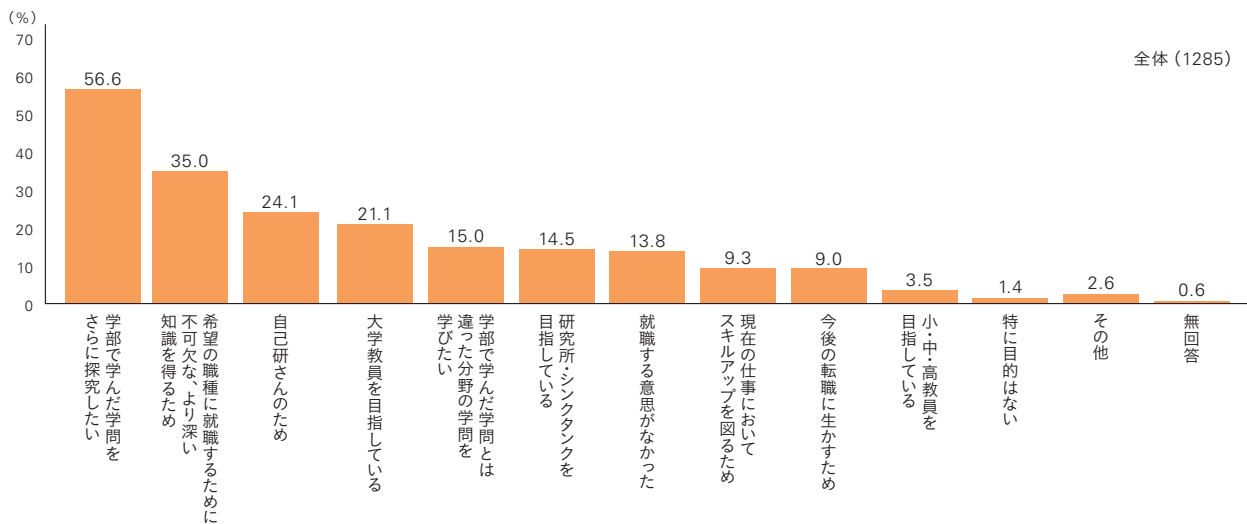
本章では大学院学生の入学事情、大学に対する満足度、家計状況に関する調査結果をまとめました。

※大学院学生の集計結果です（専門職大学院学生の調査結果は含めずに集計しています）。

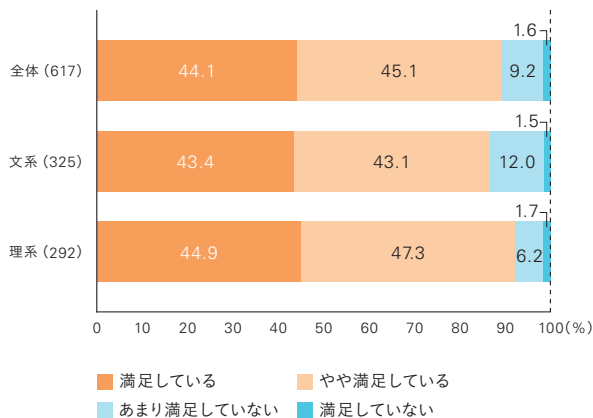
入学までのキャリアについて該当するものを選択してください。



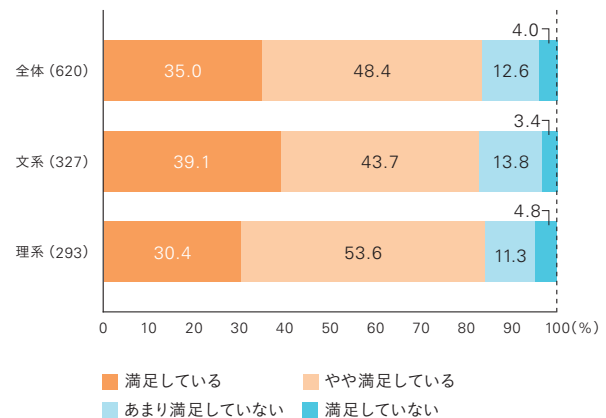
大学院を受験した理由は何ですか？ (複数回答可)



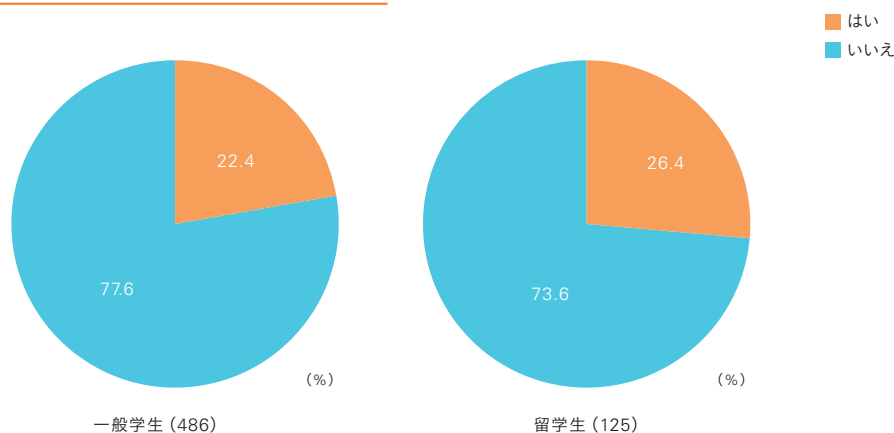
現在の授業・研究環境に満足していますか？



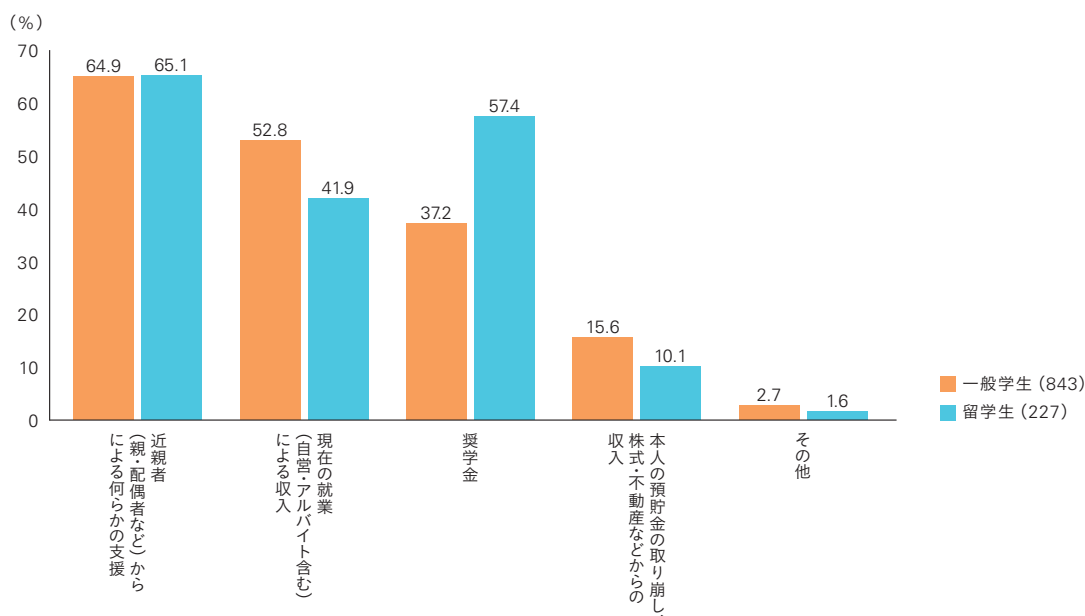
大学の設備について満足していますか？



あなたは経済的に独立していますか？



現在の学費・生活費の収入源として該当するものは何ですか？ (主なものを2つまで選択)



「学部で学んだ学問をさらに探究したい」(56.6%)、「希望の職種に就職するために不可欠な、より深い知識を得るため」(35.0%)などの理由から進学し、日々、ひたむきに研究に取り組む大学院学生ですが、仕事を続けたまま入学している学生はわずか6.3%。経済的に独立していると答えた学生は、一般学生が22.4%で留学生は26.4%と、学費・生活費の面で不安を抱えている学生が多いことが推測できます。

アルバイトなどで収入を得たり、親・配偶者に頼っている学生が多いのですが、奨学金も一般学生は37.2%、留学生は57.4%と、重要な役割を果たしています。早稲田大学では、修士課程・博士後期課程でも、「小野梓記念奨学金 (給付)」や「大

学院博士後期課程若手研究者養成奨学金 (給付)」など返済の必要がない奨学金を各種そろえているので、学生の皆さんはぜひ、奨学課に相談してください。

一方、現在の授業・研究環境については、「やや満足している」と「満足している」を合わせると文系86.5%、理系92.2%の学生が満足していると回答し、設備については全体で83.4%が満足していると回答しています。早稲田大学は2014年、主に政治経済学術院が入る新3号館を建設し、今年度、大隈記念タワーを大学院経営管理研究科 (2016年4月新設) の主要施設として改修します。学生が教育・研究に打ち込める環境を整えるため、常にキャンパス・施設的环境改善を図っています。